



アイヤム・アハリー
Ayyam Ahli / Days of "Ahli"
2023年10月11日

緊急号

アハリー・アラブ病院を支援する会 共同代表 村山盛忠・藤田 進
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 キリスト教事業所連帯合同労働組合気付 MAIL : ayyam_ahli@yahoo.co.jp

アハリー・アラブ病院を支援する会ニュース・レター

アハリー・アラブ病院 GAZA へ 緊急支援をお願いします

10月7日からのガザ爆撃でイスラエルは過密住宅地に大量の爆弾を落としています。一家全員が殺されたという報告が続いています。ジャバーリヤー、ハーン・ユニス、リマール地区は瓦礫の山となっている様子が伝えられています。イスラエルは食糧、水、電気、燃料を含む完全封鎖を宣言しました。

10月10日には、エジプトから燃料をガザに搬入しようとした救援トラックが、イスラエルによる爆撃の脅迫を受けて引き返したという報道もありました。国連の学校や病院は負傷者と避難者で溢れかえり、ベイトハヌーンでは爆撃のため閉鎖した病院もあると伝えられました。

イスラエル軍はガザ北部の人口密集地で国際法で禁止されている有毒白燐弾を使用しています。イスラエルの国防相は「ガザの完全包囲を命じ、電気、食糧、燃料もなく全てが封鎖される。我々は〈人間の獣=human animals〉と闘っている」と言い切っています。(編集者)

アルジャジーラ速報サイトより

[HTTPS://WWW.ALJAZEERA.COM/NEWS/LONGFORM/2023/10/9/ISRAEL-HAMAS-WAR-IN-MAPS-AND-CHARTS-LIVE-TRACKER](https://www.aljazeera.com/news/longform/2023/10/9/israel-hamas-war-in-maps-and-charts-live-tracker)

2023年10月7日、ガザのハマスがこの10年で最大となる攻撃をイスラエルに開始しました。その後イスラエルは3日連続でガザ各地に猛攻撃を加え、すでに封鎖されているガザを「完全封鎖」と発表しました。「完全封鎖」には食糧、水も含まれます。イスラエル陸軍はガザ境界に約10万人の予備兵を配備させたと述べました。

10月11日午前3時(現地時間)時点でパレスチナ人の死者は921人、イスラエル人の死者は1000人。

(編集者注 この数字は10/7から3日間に限った数字です。パレスチナ保健省によるとガザのインターネットが不安定にされており犠牲者の

統計が遅れています。パレスチナ人犠牲者は発表より多いことが予想されます。イスラエル軍警察、入植者によるパレスチナ人殺害は日常的に続いており、2023年は既に西岸地区で300人近くのパレスチナ人が殺されています。)

- ・ガザ 死者
少なくとも900人 負傷者 約4,500人
- ・西岸占領地
死者 少なくとも21人
負傷者 少なくとも130人
- ・イスラエル
死者1000人以上 負傷者 少なくとも2,800人
(出典 パレスチナ保健省、パレスチナ赤新月社、イスラエル・メディカル・サービス)

16年にわたるイスラエルのガザ封鎖

ガザの人口は約230万人、世界で最も過密な地域の一つです。イスラエル、エジプト、地中海に囲まれ、面積は365km²。2007年以來、イスラエルはガザの空域と海域を支配し、物資と人びとの移動を厳しく制限してきました。

ハマスの攻撃を受けたネタニヤフ首相はガザを「誰もいない離れ小島」にすると脅迫し、ガザ住民に「今すぐ去れ」と警告しました。

どのようにハマスの攻撃が展開されたか

2023年10月7日（土曜）午前6時半（午前3時半 GMT）、ハマスはイスラエル南部に向けてロケット弾を発射、警報がテルアビブやベールシェバでも鳴りました。ハマスは第一弾として5000発を発射したと述べましたが、イスラエルは2500発が発射されたとしています。

その約1時間後、ハマス戦闘員が陸空海から同時にイスラエルに入るといふ、前例のない多方面からの作戦が行われました。戦闘員の大半はイスラエルとの境界に設けられているセキュリティフェンスを破って入りました。

ハマスの急襲に先立ち、エルサレムのアルアクサーモスクではイスラエル人入植者たちが連日大勢で押しかけており、ここ数カ月でも記録的な数のパレスチナ人がイスラエルに殺されてきました。

10月7日午前9時45分（午前6時45分 GMT）、ガザで爆発音が響き、午前10時にイスラエル軍広報官が空軍によるガザ攻撃を発表しました。

一方、イスラエル南部ではイスラエル兵とパレスチナ戦闘員の銃撃戦が続きました。イスラエルによる空爆は夜まで続き、イスラエル南部へのロケット弾も続きました。

ガザの過密住宅地

ガザには、北部ガザ、ガザ市、デル・エル・バラ、ハーン・ユニス、ラファハの5つの行政区があります。

北部ガザは10kmにわたってイスラエルと接しており、 Beit Hanoun にはエレッツ検問所として知られるイスラエルに入るガザ唯一の検問所があります。ガザ最大のジャバーリヤー難民キャンプがあります。

ガザ市は、ガザで最も人口密度が高い地域で約75万人が住んでいます。リマール、シュジャイヤ、テル・アル・ハワー地区がよく知られています。リマール地区の中心にガザ最大の医療施設シーファ病院があります。

デル・エル・バラはガザ最大の農産地で、ヌサイラート、ブレイジ、マガーズィー、デル・エル・バラの4つの難民キャンプがあります。ガザ唯一の発電所が市境界に沿ってあります。

ハーン・ユニスは人口43万人。中央にあるハーン・ユニス難民キャンプには9万人が住んでいます。

ラファハはガザの最南部で人口27万5千人。エジプトに通じるラファハ検問所があります。イスラエル、エジプト共に、長時間検問所を閉鎖しています。このことは衰弱したガザ経済と人道状況をさらに悪化させています。



2023年10月10日、ガザ市にて、イスラエル軍の空爆を受けた建物の瓦礫を固めるパレスチナ人

郵便振替：00150-7-601525

ゆうちょ銀行 019 (ゼロイチキュウ) 支店 当座 0601525

アハリー・アラブ病院を支援する会

←こちらの口座にお振り込みください。領収書が必要な方は、その旨を通信欄にご記入ください。もしくはメールを送ってください。
ayyam_ahli@yahoo.co.jp

翻訳：桜井まり子（アハリー・アラブ病院を支援する会翻訳スタッフ）



人々、労働者、病人がたくさんいます。

緊急搬送患者が増加するなか、ガザの病院および医療施設では薬品と医療用品の不足にあえいでいます。政府系の一次医療センターは閉鎖され、緊急性のない手術は延期されました。ガザの人びとは貧困や危険に苦しむだけでなく、大人も子どもも暴力への恐怖、ストレス、不安を抱えて生きています。

このような痛ましい状況に対応するため、アハリー病院では臨時の職員を雇い、医療消耗品および手術のための発電機の燃料を確保するため、たえずまわっています。

アハリー病院の救急外来は、負傷の有無を問わず爆撃のために医療機関に行くことができない患者を受け入れ、無料で治療してきました。

さらにアハリー病院の外科チームは、紹介されてきた低体温の患者や緊急性のない多くの患者の手術も行なってきました。

***ナクバの日**：1948年5月15日、イスラエルによって数十万人のパレスチナの人びとが強制的に住んでいた家、土地を奪われた日です。今年にはナクバ（大惨事）から75年です。今回の攻撃の発端のひとつは、イスラエルの極右政党「ユダヤの力」党首イタマル・ベングヴィルの安全保障相就任に伴い、東エルサレムでイスラエル人入植者によるアル=アクサー・モスク侵入が加速、それを口実にイスラエル占領軍がモスク周辺からイスラム教徒を強制排除するなどの弾圧が続いていたことが挙げられます。パレスチナの人びとを徹底的に弾圧し、殲滅し、亡き者にしようとするのが75年前から今日に至るまで続いているのです。その中で愛する人を失い、土地を奪われ、筆舌に尽くしがたいことが繰り返されています。パレスチナの人びとを忘れないでください。皆さまのご支援を、何卒お願い申し上げます。（スタッフ一同）

郵便振替：00150-7-601525
ゆうちょ銀行 019（ゼロイチキュウ）支店 当座 0601525
アハリー・アラブ病院を支援する会

←こちらの口座にお振り込みください。領収書が必要な方は、その旨を通信欄にご記入ください。もしくはメールを送ってください。
ayyam_ahli@yahoo.co.jp

翻訳：桜井まり子（アハリー・アラブ病院を支援する会翻訳スタッフ）

停戦は合意されましたが、私たちはパレスチナ勢力とイスラエルが停戦を遵守するかどうか、大きな不安を抱えています。

長期に続いている封鎖と同様、現在の危機の最中にも、新たな医療的ニーズが生まれています。大人も子どもも心的外傷に苦しむケースが増え、心理ケアを緊急に必要としています。理学療法とリハビリテーションが必要な負傷者や熱傷患者、慢性疾患があるにもかかわらず保険がなくネグレクトされている高齢者がたくさんいます。

手術が必要な貧しい病人も増えています。とくに子どもはどこにも行くことができません。長時間の停電が毎日の燃料消費に影響しています。貧しい患者たちは無料の治療と薬を必要としています。

アハリー病院は、みなさまの支援を感謝します。

薬や燃料だけでなく、現在の危機のなかで仕事をこなすための運転資金が足りません。加えてトラウマをかかえた子どもたちの精神的な支えとなる心理プログラムの費用も必要です。

私たちへの支援を感謝いたします。

心を込めて

2023年5月

スハイラ・タラズィ